

令和7年 7月～9月期 作州津山商工会管内景況（DI）調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120 事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合 計
24	31	28	37	120

調査結果の概要

＜全体～仕入DIは高水準の悪化が続く、採算性も悪化の状況が続く～＞

令和7年第二四半期（前回調査）と同様に、仕入DIが一層大きく悪化しています。

今後の見通し（令和7年10～12月）は、仕入DIは若干緩和と採算の引き続きの悪化が見込まれています。

＜製造業～売上DIは大きくプラス水準、資金繰りDIは引き続き厳しい状況～＞

売上DIは41.7（前回8.3）、採算DIは16.7（前回は▲20.8）、資金繰りDIは▲8.3（前回8.3）となりました。

今後の見通し（令和7年10～12月）は売上DIは好転減少、採算DIは好転減少、資金繰りDIは悪化維持の見込みにあります。

＜建設業～売上DIはマイナス水準に転落、採算・資金繰りDIは引き続き厳しい状況～＞

売上DIは▲12.9（前回3.2）、採算DIは▲19.4（前回▲22.6）、資金繰りDIは▲3.2（前回▲6.5）となりました。

今後の見通し（令和7年10～12月）は売上DIは好転、採算DIは好転、資金繰りDIは好転の見込みにあります。

＜卸・小売業～売上DIは土水準であるものの採算・資金繰りDIは引き続き厳しい状況～＞

売上DIは0.0（前回17.9）、採算DIは▲21.4（前回▲25.0）、資金繰りDIは▲17.9（前回▲21.4）となりました。

今後の見通し（令和7年10～12月）は売上DIは悪化、採算DIは悪化、資金繰りDIは悪化緩和の見込みにあります。

＜サービス業～売上DIはプラス水準を維持したものの、採算DI、資金繰りDIは引き続き厳しい状況～＞

売上DIは21.6（前回24.3）、採算DIは▲8.1（前回▲10.8）、資金繰りDIは▲2.7（前回▲21.6）となりました。

今後の見通し（令和7年10～12月）売上DIは好転減少、採算DIは悪化維持、資金繰りDIは悪化の見込みにあります。

＜業種別業況＞

卸・小売業で仕入単価DIがマイナス60ポイント超水準であり、今後の見通しも厳しい状況。

＜時系列比較＞

売上DIは建設業を除きプラス水準が続く。

採算DIは製造業を除きマイナス水準。

資金繰りDIは全業種でマイナス。令和6年4～6月調査以来。

＜業況変化の要因＞

民間需要の活性化や販売・受注の増加により業績が好転しています。

仕入価格の上昇（商品、原材料等）が1位回答の最多となっています。

～業種別比較表～

○製造業

比較期間	状況	売上高	仕入単価	採算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和6年7月～9月	天気図					
	D I	41.7	-58.3	16.7	33.3	-8.3
来季（見通し）比較 令和7年10月～12月	天気図					
	D I	8.3	-37.5	0.0	25.0	-8.3

○建設業

比較期間	状況	売上高	仕入単価	採算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和6年7月～9月	天気図					
	D I	-12.9	-45.2	-19.4	19.4	-3.2
来季（見通し）比較 令和7年10月～12月	天気図					
	D I	9.7	-22.6	0.0	19.4	0.0

○小売業

比較期間	状況	売上高	仕入単価	採算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和6年7月～9月	天気図					
	D I	0.0	-67.9	-21.4	14.3	-17.9
来季（見通し）比較 令和7年10月～12月	天気図					
	D I	-14.3	-35.7	-35.7	7.1	-10.7

○サービス業

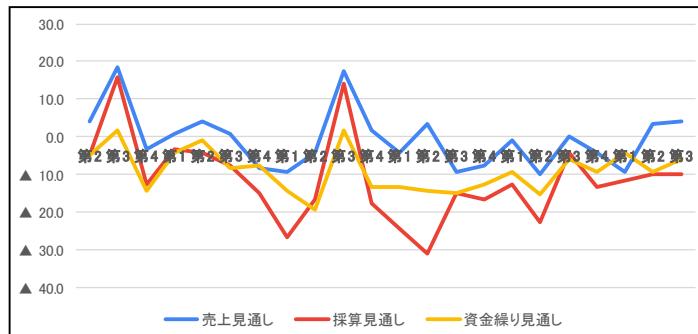
比較期間	状況	売上高	仕入単価	採算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和6年7月～9月	天気図					
	D I	21.6	-35.1	-8.1	16.2	-2.7
来季（見通し）比較 令和7年10月～12月	天気図					
	D I	10.8	-24.3	-5.4	10.8	-5.4

～天気図の指標～

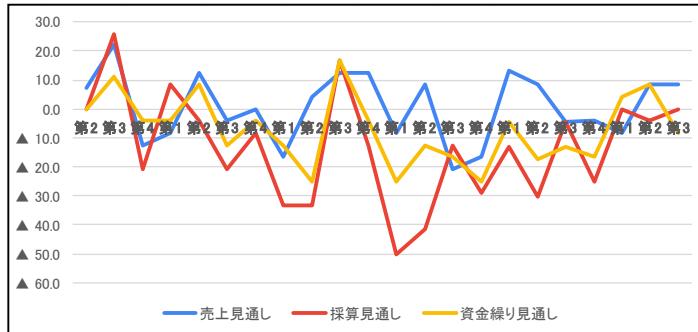
状況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

～グラフによる今後の見通し～

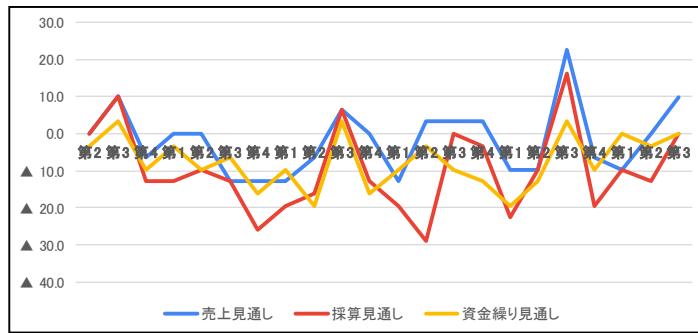
◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



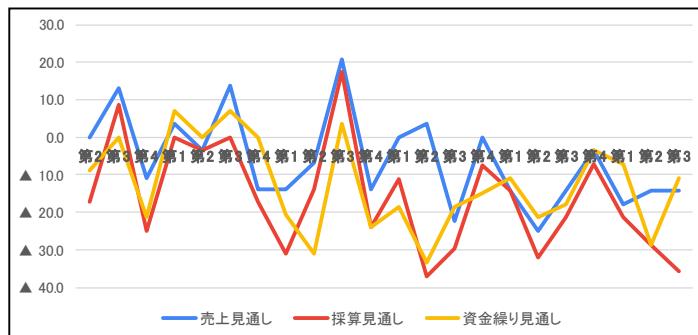
◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



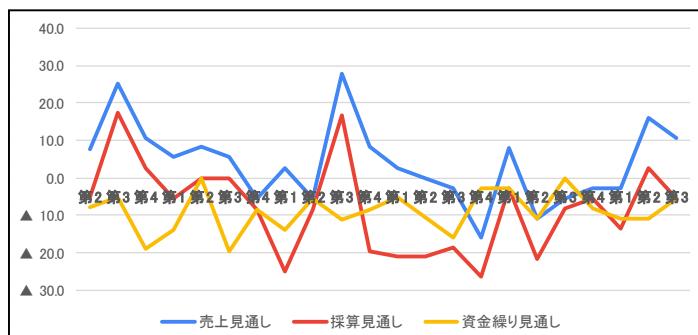
◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し



◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し

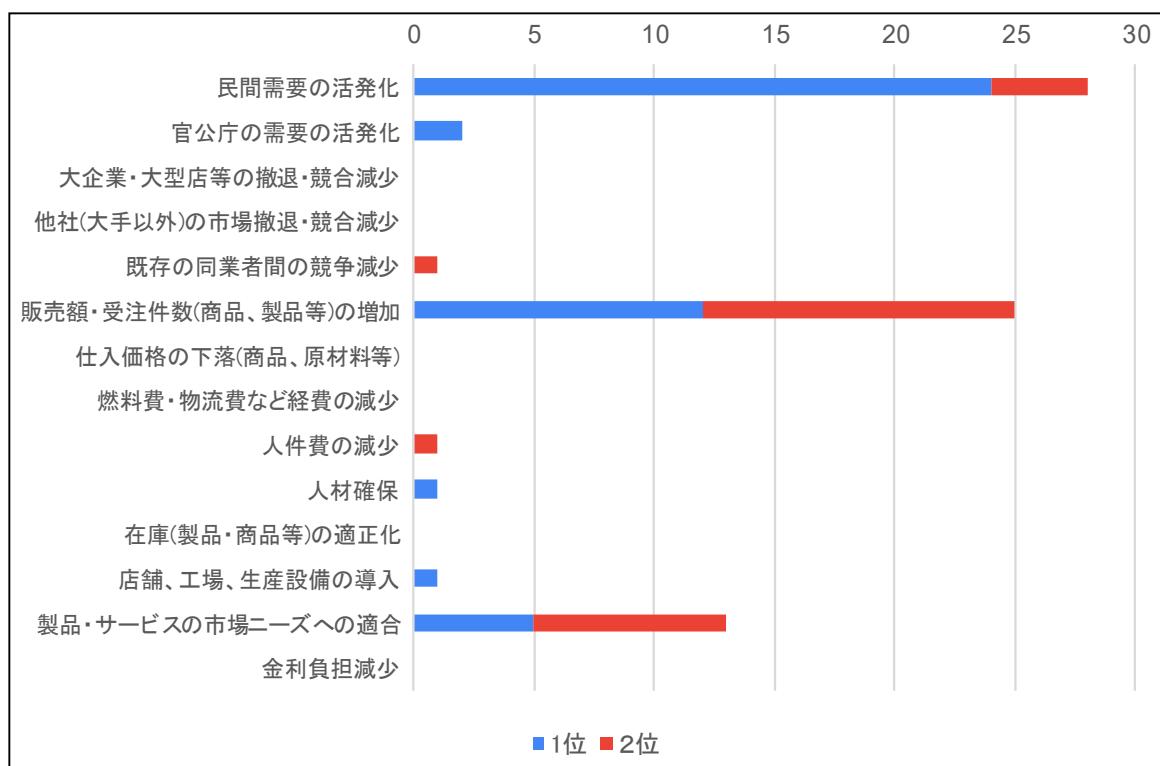


— 売上見通し - 採算見通し — 資金繰り見通し

○業況変化の要因

～景況が好転・増加した理由～

民間需要の活性化や販売・受注の増加により業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

仕入価格の上昇(商品、原材料等)が1位回答の最多となっています。

